

# 三次元地盤モデルを活用した松山空港の耐震性能評価について

白井博己\*・榊原雅人\*\*・藤野正宏\*\*\*・前田昌弘\*\*\*\*・添田洋\*\*\*\*\*・岸田隆嗣\*\*\*\*\*

- \* (財) 沿岸技術研究センター 調査役
- \*\* (財) 沿岸技術研究センター 調査部 主任研究員
- \*\*\*国土交通省 四国地方整備局 高松港湾空港技術調査事務所 所長
- \*\*\*\*国土交通省 四国地方整備局 高松港湾空港技術調査事務所 専門官
- \*\*\*\*\*日本海洋コンサルタント(株) 技術本部 技術部長
- \*\*\*\*\*日本海洋コンサルタント(株) 技術本部 技術課長

## 概要

レベル1およびレベル2地震動に対する、地震後の空港の被害想定を行うため、空港直下の地盤を三次元でモデル化し、空港の基本施設(滑走路・誘導路・エプロン)の耐震性能評価を行った結果について報告する。

キーワード：耐震性能評価, 被害想定, 三次元地盤モデル, 液状化

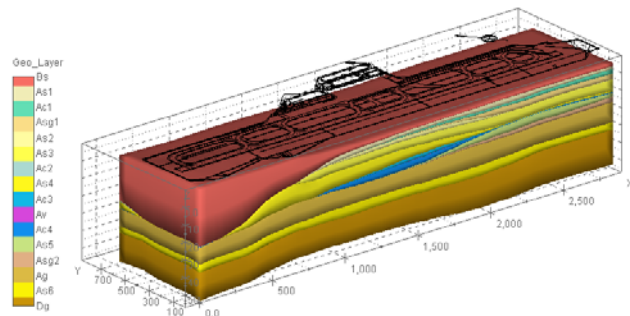


図-1 三次元地盤モデル

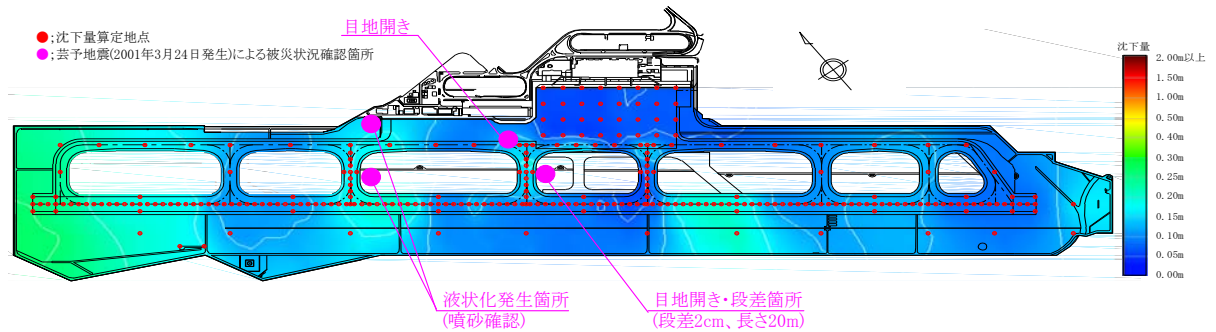


図-2 沈下量コンター図(全砂層に液状化パラメータを設定, 芸予地震)

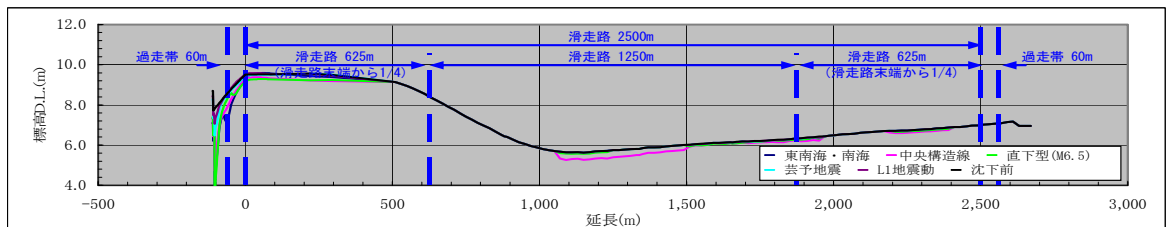


図-7 滑走路縦断面図

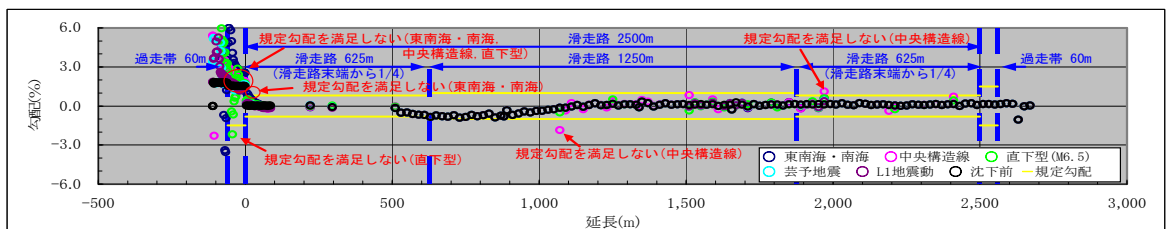


図-3 滑走路縦断面勾配